

3 文化芸術・生涯学習、スポーツ活動を活発にする

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

生涯学習の推進と文化芸術の振興を図るため、練馬区生涯学習推進計画（計画期間：平成23～26年度）および練馬区文化芸術振興計画（計画期間：平成23～26年度）を、平成23年3月に策定し、様々な充実のための取組を進めてきた。

24年度に生涯学習施策と文化芸術施策を総合的に推進するため、生涯学習施策を教育委員会から区長部局へ一元化する組織改正を行った。

27年3月には、今後の区政運営の羅新盤である「みどりの風吹くまちビジョン～新しい成熟都市・練馬をめざして～」(以下「ビジョン」という。)が策定された。ビジョンで目指す「新しい成熟都市・練馬」の実現に向け、生涯学習および文化芸術分野の分野別計画である(仮称)練馬区学びと文化の推進プラン素案を26年度に策定した。

今後、区民意見反映制度を踏まえ、27年度に計画を策定する予定である。

●美術展示事業

身近な場所で芸術鑑賞ができるように公共施設での絵画展示と野外彫刻の設置を行っている。

絵画展示事業は、練馬区美術家協会の協力により昭和51年から区内の公共施設に絵画を展示し、隔年で展示替えを行っている。平成27年3月31日現在、区内32施設で74作品を展示している。

野外彫刻事業は、区内の公共施設や公園などに彫刻作品を設置するもので、昭和58年から行われている。平成5年に、区内在住の長尾幸作氏の寄付を基に練馬区芸術作品設置基金が設立され、これを財源として設置された7作品を含め、41作品が各所に設置されている。

●文化芸術振興支援事業

幅広い世代に身近な音楽鑑賞の機会を提供するため、大泉学園ホールで年6回「ワンコイン・コンサート」を実施した。平成26年度は、音楽にダンスやパフォーマンスを交えたコンサート等、親子で入場ができるなど多様なプログラムを提供した。

●練馬区文化振興協会

練馬区文化振興協会は、区民文化の向上および振興のための事業を行い、区民の自主的な文化活動の促進を図り、豊かな区民文化の創造に寄与することを目的として、区的全額出資により、昭和57年9月に財団法人として設立された。平成24年4月には、公益財団法人へ移行している。

協会は、練馬文化センターおよび大泉学園ホールで実施する文化芸術の鑑賞機会の提供に加え、区民に身近な場所でのコンサートの実施、区民参加・学習型事業の実

施など様々な事業を実施している。

27年度からは、前年度からの石神井公園ふるさと文化館に加えて、練馬区立美術館の指定管理者となり、区の文化振興を担う団体として、さらに幅広い分野での事業展開に努めている。

事業内容はつぎのとおりである。

1 区民文化の向上および振興のための事業

(1) 舞台鑑賞事業 (27事業)

優れた音楽・古典芸能などを身近な場所で鑑賞する機会を提供した。

(2) 地域活動事業 (44事業)

区役所本庁舎アトリウムにおいて、毎月1回「アトリウムミニステージ」を実施したほか、「まちなかコンサート」の実施、練馬まつりや小竹の森音楽祭等の地域イベントや障害者施設・高齢者施設等に演奏家を派遣・あっせんした。また、小学校8校へ狂言師を派遣し、狂言ワークショップ(体験教室)を行った。

(3) 練馬文化センター友の会事業

会員数1,344人(26年度末現在)

2 区民の自主的な文化活動の促進に関する事業

(1) 区民参加・学習型事業 (6事業)

「レクチャーコンサート」などの学習型事業や小・中学生参加型ミュージカル、青少年を中心とした「ねりま若者文化祭ライブパフォーマンス2015」、大人も参加できるタップダンスワークショップなど区民参加事業を実施した。

(2) 人材育成活用事業

① 第29回新人演奏会(声楽・木管・弦)の実施

② 練馬区演奏家協会事業

区にゆかりのある演奏家等により18年3月に設立された練馬区演奏家協会会員によるコンサートの開催や、区内イベントへの演奏家のあっせんなど、プロの演奏家が活動する場の充実を図った。

(3) 連携支援事業

① 文化活動支援補助事業

区民の自主的な文化芸術活動を支援するため、練馬文化センター、大泉学園ホールを拠点とする登録文化団体等に対し施設使用料の補助を行った。

② 練馬交響楽団の活動支援

定期演奏会等の支援とともに、協会の行う演奏家派遣等地域活動事業への積極的な協力を得た。

③ 舞台芸術支援事業(5事業)

練馬文化センター、大泉学園ホールを使用する良質な舞台公演への支援協力を行った。

④ 区内三大学連携事業(5事業)

区内の三大学と連携し、それぞれの専門性を活かした事業を実施した。武蔵野音楽大学とはコン

サート、日本大学芸術学部とは映画会での連携等、武蔵大学とは、指定管理者として管理する石神井ふるさと文化館において、特別展（「型紙の美」）の共催等を行った。

(4) 文化芸術情報発信事業

区内を中心として文化芸術活動を行っている団体等を協会の登録文化団体とし、各団体の活動情報を協会ホームページを通して発信した。

●練馬文化センター

練馬文化センターは、区民に広範な文化的交流の場を提供し、区民の自主的な文化活動の展開によって区の文化の高揚を図るため昭和58年4月に開館し、平成18年4月からは、大泉学園ホールとともに、指定管理者が施設管理を行っている。

練馬文化センターの利用状況

平成26年度

施設名		大ホール	小ホール	ギャラリー	リハーサル室	集会室	計
区分							
入場者数(人)		269,970	129,862	6,932	56,198	16,090	479,052
利用件数(件)		687	730	129	2,351	1,023	4,920
利用率(%)		73.1	78.5	39.2	77.8	51.2	68.2
主催者別 利用件数	件	件	件	件	件	件	件
	官公署・教育機関	152	129	3	203	28	515
	登録文化団体	7	6	0	148	33	194
	一般団体	415	476	118	1,575	884	3,468
	文化振興協会	55	80	7	298	32	472
	練馬区	58	39	1	127	46	271

注：「利用件数」は、午前・午後・夜間の各区分を1件とする。ただし、ギャラリーについては、1日を1件とする。
「利用率」は、利用件数を利用可能件数で除したものである。

●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民に文化的交流の場を提供し、区民文化の創造と発展に寄与することを目的として、平成14年2月に開館した。施設は大泉学園駅北口再開発ビル〔ゆめりあ1〕内にあり、5～6階部分に176席のホール、7階部分に展示ギャラリー（ゆめりあギャラリー）がある。練馬文化センターの姉妹館として位置づけられ、ホールの利用率は高い。

区分	施設名			
	ホール	ギャラリー	計	
入場者数(人)	48,784	8,297	57,081	
利用件数(件)	895	147	1,042	
利用率(%)	90.4	43.3	78.4	
主催者別 利用件数	件	件	件	
	官公署・教育機関	54	7	61
	登録文化団体	9	0	9
	一般団体	795	140	935
	文化振興協会 練馬区	32	0	32
	5	0	5	

注：「利用件数」は、ホールについては午前・午後・夜間の区分を1件とし、ギャラリーについては1日を1件とする。

「利用率」は、利用件数を利用可能件数で除したものである。

●美術館

練馬区立美術館は、区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目

的に、昭和60年10月に開館した。

美術館の事業運営についての幅広い意見を反映させる場として、美術館運営協議会を設置している。この協議会は、美術に関する学識経験者、美術作家および学校教育関係者等で構成され、美術館の運営方針や事業計画を中心に協議を行っている。

1 展示事業

(1) 企画展

美術に関する調査に基づき自主企画の展覧会を平成26年度は4回開催した。

(2) コレクション展

企画展以外に美術館の収蔵作品からテーマを決めて特集展示している。

26年度は、1回の展覧会を開催した。

(3) 地域に根差した展覧会

区内在住の美術家協会会員の作品を紹介するため、毎年「練馬区美術家協会展」を開催している。26年度の出品点数は59点であった。

「練馬区民美術展」は区民の日頃の創作活動を発表する場として開催するもので、26年度は250点の出品があった。

(4) 展示室等の貸出し

区民などの創作発表の場として一般展示室を開放し、企画展示室についても美術館の主催事業に支障のない期間（26年度は12月）に貸出しをしている。また、サークルの創作活動のために創作室の貸出しも行っている。

企画展

展覧会名	会期	内 容	観覧者数
没後五〇年 松林桂月展－水墨を極め、画中に詠う－	4/13～6/8 49日間	日本画家、松林桂月（1876～1963）は明治・大正・昭和の三つの時代を生き、数々の名作を残した近代を代表する日本画家である。桂月が世を去って50年、この半世紀の間に開催された大規模な展覧会は、桂月の没後間もなく門人たちによって開催された遺作展と、1983年に山口県立美術館で開催された「松林桂月－その墨と色彩の妙－」展のみで、近年にはその芸術を通覧できる機会はほとんどない。そのため、桂月の名も、画も、一部の美術愛好家だけが知るところとなりつつあることが惜しまれるところであった。本展は、30年ぶりとなる回顧展として、初公開を含む大作、名作で、詩書画の全てに優れた才能を示し、近代にあって水墨画の表現を極めた、桂月の豊かな芸術世界を紹介した。	人 8,985
N+N展2014 「油絵の魅力－うつくしいいろ・かたち・マティエール－世代を超えて伝わるもの」	7/3～7/13 10日間	6回目を迎える、日本大学芸術学部美術学科と美術館との共同企画展。今回は、卒業生や教員を含み、現代洋画壇で活躍する油彩画の作家、20余名による展覧会。各作家は、近作及び初期作品を併せて出品し、これらを並べて展示することで「日藝絵画」に世代を超えて伝わる基軸を視覚的に浮かび上がらせようとする試みとなった。	1,968
あしたのジョー、の時代展	7/20～9/21 55日間	練馬区在住の高森朝雄とちばてつやによるボクシング漫画「あしたのジョー」をキーワードに、この漫画が連載された1967年から73年の芸術文化を紹介する展覧会を開催した。本展では、「あしたのジョー」の作品世界をちばてつやによる原画やジオラマ、アニメ関連資料、キャラクターグッズから構成。また「あしたのジョー」と時代の空気を共有するパフォーマンスを紹介したほか、当時「あしたのジョー」の読者であった漫画家やデザイナーによるオマージュ作品や連載終了後から長く発行を続けた同人誌を展示するなど、「あしたのジョー」の今日への影響を探った。	14,014
見つめて、シェイクスピア！展－美しき装丁本と目で見える愛の世界－	9/28～11/30 55日間	2014年は、16世紀イギリス（イングランド）を代表する劇作家で詩人、ウィリアム・シェイクスピア（William Shakespeare, 1564-1616）の生誕450年にあたることから、シェイクスピアをテーマに展覧会を開催した。本展には、大きく分けて2つの主役が存在したが、そのひとつは約90点にのぼる個性豊かな皮革装丁本で、世界中の装丁家たちによって、シェイクスピアの作品から得たイマジネーションに基づき、装丁が施されている。もうひとつの主役は、シェイクスピアの作品に主題を得た絵画作品や挿絵本の数々である。フランス・ロマン主義の旗手、ウジェーヌ・ドラクロワによる版画《ハムレット》やエコール・ド・パリの画家、マルク・シャガールの版画による挿絵本《テンペスト》、またイギリスの挿絵画家アーサー・ラッカムやアーツ・アンド・クラフツのメンバーでもあったウォルター・クレインによる美しい挿絵本などを紹介した。	7,085

2 教育普及事業

展覧会関連講座を始め、各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象に学芸員による作品解説を行うティーチャーズデイの実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

講座開設状況		平成26年度			
		回数(回)	受講人数(人)		
美術館事業	展覧会 関連事業	講演会・シンポジウム	5	345	
		ワークショップ・講座	12	124	
		ギャラリートーク	11	561	
		コンサート・ ライブパフォーマンス	6	644	
		子ども向け 鑑賞プログラム	8	81	
	美術講座	5	231		
	美術館を楽しむワークショップ	10	111		
	その他	4	149		
	学校事業	スクール プログラム	団体鑑賞	15	458
			施設見学	5	92
職場体験			12	40	
出張プログラム			7	391	
ティーチャーズデイ		5	58		
その他		4	25		
合計		109	3,310		

3 資料収集事業

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。25年度資料収集委員会が開催されなかったため26年度に2回収集委員会を開催し、購入作品1点、申出のあった寄贈・寄託作品および資料を決定した。26年度末の全所蔵数は6,702点である。

4 美術の森緑地展示事業

27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。美術館の野外展示の場として美術館と一体となった活用をしていく。

●学習情報の提供・相談活動の推進

区民の生涯学習活動を支援するため、毎年「学習・文化ガイドブック」および「スポーツガイドブック」を発行するとともに、平成14年2月から区ホームページに、「ねりまの生涯学習」を開設し、生涯学習の施設、事業計画・事業案内等、最新の情報を提供している。また、生涯学習の相談やアドバイスなども行っている。

●「練馬 En (エン) カレッジ」の開講

各課で実施している人材育成事業を分野別専門講座として東ね、カリキュラムや募集窓口等を総合的に案内するとともに、分野別専門講座の受講者が利用できる「共通講座」、「フォローアップ講座」、練馬区の歴史・自然・文化や地域課題など区の概要を学び、それをきっか

けとして各分野の人材育成事業への参加を促す「地域講座」を平成27年4月に開講する。

●生涯学習団体の育成

生涯学習団体は、芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等、様々な分野で自主的な学習・スポーツ活動を展開している。平成27年3月31日現在、1,613団体が、区に届出されている。

区では、これらの団体の求めに応じて指導・助言をするほか、団体の学習・スポーツ活動をより広く情報提供するため、届出名簿一覧表を閲覧できるようにしている。

●区民参加と交流の促進

子育て・子供の教育をテーマとした講座（子育て学習講座）や、子供たちがいろいろな遊びや体験・学習等を行う講座（ねりま遊遊スクール）の企画運営をPTA・生涯学習団体・NPO等に委託し実施することにより、区民参加と地域の教育力向上を図るとともに、地域における子供たちの居場所の一つとしている。

●学習の機会の充実

1 子育て学習講座

地域や家庭における子育てや子供の教育は、人格形成の上で、大変重要である。PTA等の地域で活動している団体に、子育てや子供の教育に関する様々な課題等を学習する場として企画・運営を委託し実施している。平成26年度は、47講座実施し、延べ1,315人が参加した。

2 父親育ち講座（ねりマイクメン講座）

父親が子育てや家事に積極的に関わることができるよう、育児や家事について学ぶ機会を提供するとともに、子供と父親・父親同士の交流を図ることを目的として、23年度から、地域で活動している団体に企画・運営を委託し実施している。26年度は、14講座実施し、延べ387人が参加した。

3 ねりま遊遊スクール（子どもの居場所づくり）

放課後や休日などに、学校や公共施設等を会場に、子供たちがいろいろな遊びや体験活動・学習の機会を得るための場として、地域で活動している団体に企画・運営を委託している。26年度は、427講座実施し、延べ13,423人が参加した。

4 ねりま遊遊スクール（子どもによる講座づくり）

中学生が自ら講座の企画運営に関わることで、その自主性を育むとともに、地域における小学生と中学生の交流を図るために、14年度から中学校の部活動等の団体に委託し、実施している。26年度は、27講座実施し、延べ674人が参加した。

5 すまいるねりま遊遊スクール

主に知的障害のある子供を対象に、居場所づくりおよび精神面での成長・発達を促すことを目的として、地域で活動している団体に企画・運営を委託している。26年度は、18講座実施し、延べ231人が参加した。

6 子供安全学習講座

子供が安全に、かつ安心して生活するために、子供自身が犯罪や災害などの危険から身を守る方法を学んだり、大人が子供の安全に関する知識を習得する講座である。

地域で活動している団体に企画・運営を委託している。26年度は、6講座実施し、延べ164人が参加した。

7 珠算コンクール

珠算の技術向上と発展を図るため、小・中学生を対象に、練馬区珠算教育連盟との共催で、年1回珠算コンクールを開催している。26年度は、144人が参加した。

8 人権学習

現代社会の様々な人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

① 青少年向け

- ・子供のための人権人形劇（2回実施、121人が参加）
- ・青少年のための人権学習講演と映画のつどい（150人が参加）

② 地域ふれあい講座（5回実施、62人が参加）

9 武蔵大学特別聴講生

武蔵大学に4月から翌年3月までの1年間、一般の学生と一緒に授業を聴講する特別聴講生を派遣している。

修了後、ボランティア活動を行う意思があることを条件に、聴講料の一部を区と武蔵大学で負担している。26年度は、34人の聴講生を派遣した。

●区民発出前講座

様々な趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。平成13年6月に講座登録を開始し、27年3月31日現在で、89講座が登録されている。

●情報教育推進事業

情報機器や情報通信ネットワークが普及していく中で、情報を収集し正しく判断する能力や、自ら情報を発信していく能力の育成およびインターネットなどを悪用した犯罪等に対処できる情報能力を育成する。

1 中学生のためのニュース番組制作講座

中学生が実際にニュース番組の制作を体験することで、情報を発信するプロセスや仕組みを学んでいき、能動的に情報リテラシーを理解する能力を育成する。平成22年度から、日本大学芸術学部運営を委託し実施している。26年度は、24人が参加した。

2 親子NIE講座

情報を読み取り、整理し発信する能力を育成するため、新聞活用学習（NIE）を22年度から実施している。26年度は、親子対象延べ62人が参加した。

●学校施設の地域開放推進

学校教育に支障のない範囲で、学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、地域住民の学習・文化・レクリエーション・スポーツ活動の場として、学校施設を開放してい

る。また、児童の健全育成を目的に区立小学校の校庭を遊び場・スポーツの場として開放している。施設開放は、当該校と地域の住民による学校応援団や学校開放運営委員会に学校開放事業の運営を委託しているほか、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に開放している。

1 校庭開放

平成27年3月31日現在、区立全小学校（65校）の校庭を、地域の子供たちの健全な遊び場、スポーツの場として開放している。26年度は、年間では全校で延べ1,139,911人の利用があった。内訳は、717,332人が個人利用、422,579人が少年スポーツ団体などの利用であった。

2 学校図書館開放

子供を主とした地域住民に対して、区立小学校図書館（室）を開放し、図書の貸出しと読書・学習の場を提供している。

27年3月31日現在、42校を開放し、蔵書数は267,607冊である。また、26年度は延べ183,472人の利用があり、51,148冊を貸し出した。

また、13年度から、区立図書館から離れた場所にある学校開放図書館に、区立図書館資料の検索ができる端末を設置し、26年度末時点では、5校で予約・貸出しを実施している。26年度は2,947冊の貸出しがあった。

3 教室開放

区立小学校の余裕教室を活用して整備した開放用施設を、地域住民の身近な学習・文化・レクリエーション活動の場として開放している。

27年3月31日現在、19校で45施設を開放している。26年度は2,957件、延べ58,387人の利用があった。

4 学校体育施設の開放

区民がスポーツ活動を身近に行える場として、区立学校体育施設（体育館・プール）の開放を行っている。これは区民の体力増進や、健康管理のために場を提供するだけでなく、スポーツを通じて、学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指すものである。

26年度の学校体育館開放は、38校の小中学校で実施し、延べ224,054人が利用した。また、プール開放は9校の小学校（ただし夏休み期間中のみ）で、延べ4,246人が利用した。

5 学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほか、区立の全小・中学校の学校施設を、学校教育に支障のない範囲で、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、中学校18校に設置済みの第二屋内運動場（格技室）や開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

●少年自然の家

少年自然の家は、恵まれた自然環境の中での集団宿泊生活を通じ、少年たちの創意と活力あふれる人間形成を図るとともに、区民の健全な余暇活動に役立てるため設置されている。

少年自然の家にはベルデ（スペイン語で「緑」という意味）という呼称が付いており、浅間山の麓にベルデ軽井沢、伊豆下田にベルデ下田、美ヶ原高原の麓にベルデ武石、内房岩井海岸にベルデ岩井がある。

小・中学校の移動教室、中学校の臨海・林間学校に利用されているほか、夏・冬休みを中心に区内の少年団体や区民にも広く利用されている。

施設名	利用者数
軽井沢少年自然の家（ベルデ軽井沢）	延べ 33,329人
下田少年自然の家（ベルデ下田）	14,054
武石少年自然の家（ベルデ武石）	26,381
岩井少年自然の家（ベルデ岩井）	14,577
計	88,341

注：小・中学校の校外授業、少年団体や区民の総利用者数である。

●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館以来、区の生涯学習の中心的施設として区民に親しまれてきたが、平成24年4月より教育委員会事務局から地域文化部文化・生涯学習課に所管が移行し、名称を「生涯学習センター」と変更した。

現在は、生涯学習の中核を担う施設として、練馬公民館で行っていた事業を継続しつつ、学習や文化芸術活動を支援している。また、他施設、他施策との連携による幅広い事業展開や文化芸術・生涯学習の総合的な情報の収集・提供機能の充実を図り、人づくり・地域づくりを総合的に推進している。

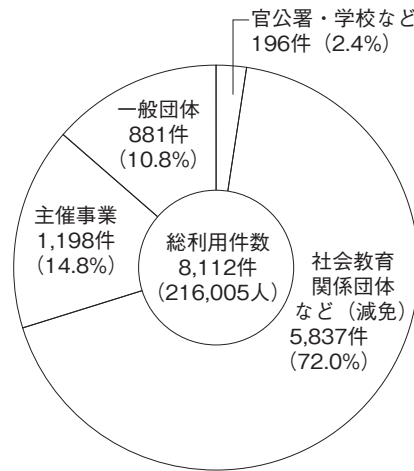
生涯学習センターの事業実施状況

平成26年度

事業名	実施状況
学びふれあい講座 寿 大 学	13講座 延べ2,837人受講 65歳以上対象 2回 延べ3,308人受講
寿大学通信講座	60歳以上対象 書道・俳句の2科目 延べ6,678人受講 講師による直接指導
寿大学通信講座 スクーリング	5回 延べ174人受講
寿大学通信講座 書き初め展	1回 書道178点・俳句160句出品
児童合唱団	毎週土曜日練習 演奏会6回
視 聴 覚 事 業	名画鑑賞会 子ども映画会52回 延べ7,292人入場
サークル文化祭	1回 1,955人入場
区 民 文 化 祭	1回 延べ11,833人参加
芸 術 鑑 賞 会	6回 延べ1,508人入場
公 開 講 座	7講座（大学4校、高校1校） 延べ707人受講
サポーターズ講座	料理講座16講座 一般講座8講座 座・サポーターズ「練馬寄席」7公演 延べ2,268人受講

生涯学習センターの利用状況

平成26年度



●生涯学習センター分館

平成26年4月、移転した総合教育センター跡施設として開館した。27年4月より、さまざまな地域の課題等について学んだ区民が、その成果を地域で活用できるよう支援する拠点として、「練馬 En (エン) カレッジ」事業 (P.132 掲載) を開始したほか、ジュニア・オーケストラなどの各種事業を実施している。

1 ジュニア・オーケストラ

小学4年生から18歳までの少年少女を団員として、年40回程度練習を行い、学校演奏会と定期演奏会をそれぞれ年1回開催している。27年4月現在の団員は60人である。

2 弦楽体験教室

小学4年生から中学生で弦楽器の初心者を対象に、6月から9月にかけて、全9回で1コースの体験教室を開催した。26年度は18人が参加した。

3 区民囲碁大会、区民将棋大会

それぞれ年1回の開催であり、初心者から有段者まで老若男女を問わず楽しく腕を競っている。26年度の囲碁大会は96人、将棋大会は101人が参加した。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する生涯学習施設として、平成22年3月28日に開館した。

また、隣接の区立池淵史跡公園内に茅葺屋根の民家「旧内田家住宅」(区指定文化財)を移築復元し、建物内部も公開している。さらに、26年4月1日に区立石神井松の風文化公園内(石神井台1-33-44)に開設した石神井公園ふるさと文化館分室では、新たな文化芸術の拠点として様々な展示・催しを開催している。

館の展示案内や各種交流事業に区民サポーター107名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。26年度から(公益財団法人)練馬区文化振興協会が指定管理者となり、新たにジュニアサポーターなどの取組を行っている。26年度は、分室を含め延べ237,276人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。縄文時代の土器などの出土品から、練馬大根の関連資料、アニメーション資料などがあり、様々な資料を体験しながら楽しく学ぶことができるような展示構成としている。分室では、練馬区ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛したオーディオの展示など、文芸と音楽・音響を柱とした事業を行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか幅広い視野からテーマを設定した特別展を26年度は2回開催した。(有料展)

特別展

平成26年度

展覧会名	会期	内容	観覧者数
特別展「型紙の美ー武蔵大学蔵朝田家型紙コレクションー幕末から明治の染の世界」	9/27～11/16 44日間	武蔵大学に寄贈された型紙や練馬区内の染めの技術に関する資料を武蔵大学との共催により展示した。	人 2,886
特別展「富士山-江戸・東京と練馬の富士」	1/24～3/15 44日間	江戸・東京、練馬の人々と富士山の関わりを、地誌や文献、浮世絵などの資料を展示した。	4,058

特別展関連講演会等

平成26年度

講演会名等	参加人数
講演会「型」と「粋」と「艶」の文化史ー江戸時代の小紋ー	人 98
小紋染の伝統工芸士による実演と解説	35
ワークショップ「型彫り体験」	34
型彫りの実演と解説	36
銭湯絵の公開制作	122
講演会「東京の富士講について」	96
講演会「富士塚に登って、富士山に親しもう！」	91
講演会「富嶽三十六景と富士山信仰」	100
見学会「国指定重要有形民俗文化財の二つの富士塚の見学会」	38
ワークショップ「いまさら聞けない登山の基本富士登山のすすめ」	23

(3) 企画展

収蔵資料からテーマを決めた企画展を26年度は分室を含め6回開催した。(無料展) 平成26年度

展覧会名	会期	内容	観覧者数
【分室】企画展「松本零士展」	4/1～9/28 148日間	松本零士氏の生い立ちやアニメ創造の源となった身の品々を展示した。	人 23,613
収蔵品企画展「絵はがきの魅力ー時代の『生き証人』ー」	4/26～6/15 44日間	明治時代末期から昭和期の出来事や観光地の様子に関する館蔵の絵はがきを展示した。	3,072
収蔵品企画展「昔の暮らし」	7/5～8/3 26日間	くらしや道具の移り変わりの分かる、なつかしい生活道具の数々を展示した。	2,868

展覧会名	会期	内容	観覧者数
【分室】 企画展「絵本の森へようこそー練馬区ゆかりの絵本作家・童画家・児童文学者たちー」	10/11～ 11/24 39日間	子どもたちが親しんできた練馬区にゆかりのある7人の絵本作家・童画家の作品を展示した。	人 5,812
【分室】 コレクション展「地図地図古地図ー江戸の古地図を楽しむ」	12/2～ 2/11 57日間	五味康祐コレクションによる江戸時代の古地図などを展示した。	5,880
【分室】 企画展「うたに生きるー練馬区ゆかりの詩歌の世界」	2/21～ 3/29 32日間	短歌、俳句、詩、歌詞の分野から、練馬区住んだ31名の作家とその作品を展示した。	3,929

(4) 公募展 平成26年度

展覧会名	会期	内容	観覧者数
第2回ねりま手工芸公募展 *ねりま手工芸公募実行委員会主催	8/30～ 9/7 8日間	区在住・在勤・在学のアマチュアの方を対象に募集した刺繍、和紙画、陶芸、染織、七宝、彫金等の手工芸作品52点を展示した。	人 1,201

(5) ギャラリー企画展

写真などテーマ別のギャラリー展示を26年度は2回開催した。

ギャラリー企画展 平成26年度

展覧会名	会期	内容
ギャラリー企画展「ホテルー生命の輝きー」写真展	6/19～ 7/31 37日間	練馬区内でも生息していたホテルの生態を、ゲンジボタルを中心とした30枚の写真パネルで紹介した。
ギャラリー企画展「昔写真展ー水のある風景ー」	8/6～ 8/31 23日間	当館で収蔵する練馬区内の池や川、橋の風景写真(昭和20～40年代中心)のパネル21枚を展示した。

(6) わがまち練馬情報コーナー1・2

隣接する都立石神井公園をはじめとした区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、旧内田家住宅を活用した季節体験事業、親子でのふれあいを楽しめる催しなどを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、レコードコンサートや区内音楽大学と連携したサロンコンサートや文芸に親しむイベントを開催している。また、幼稚園、保育園、学校の団体見学や職場

体験等の受け入れ、学校等への講師派遣や大学の実習生受け入れ等も行っている。

講座等開設状況 平成26年度

事業名等	回数	参加人数	
ふるさと文化講座	7回	599人	
季節体験事業(端午の節句、七夕、十五夜等)	12回		
ふれあい土曜事業	51回	1,749人	
【分室】レコードコンサート	9回	310人	
【分室】講座「和」を学ぶシリーズ	10回	296人	
【分室】オーディオ音出しメンテナンスに伴う一般試聴	96回	2,030人	
【分室】サロンコンサート	5回	768人	
その他主催事業(夏休みイベント、ふるさと探訪等)		2,618人	
【分室】その他主催事業(古本交換会、ワークショップ等)		2,535人	
学校等団体見学	小・中学校・大学 幼稚園・保育園	92校 9園	6,759人 302人
職場体験	8件	30人	
講師派遣	17件	(対象) 527人	
実習生受け入れ	7件	8人	

3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。26年度は新規受け入れ資料が188点あり、分室を含めた全所蔵数は資料・図書を合わせて53,406点になった。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

施設利用状況 平成26年度

施設	貸出数(延べ)
多目的会議室	247件
会議室(1・2)	136件
企画展示室	55日
ギャラリー	61日
展示用ボックス	248月

5 石神井公園ふるさと文化館運営懇談会

館の運営や事業内容等について区民および識者等の意見を反映させるために「練馬区立石神井公園ふるさと文化館運営懇談会」を設置している。26年度は1回開催した。

(2) 読書活動を支援する

●図書館

区立図書館は、地域の情報拠点として、生涯学習や暮らしに役立つ図書館資料の貸出しを始め、おはなし会やよみきかせなどの各種サービスを実施している。資料の

収集・提供を充実するとともに、ビジネス、子育て、住民活動など、人々の生活や仕事の上で必要な資料や情報を提供するなどの支援を行っている。

また、これまでの貸出しやリクエストサービスに加えて、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスを重要なサービスとして位置づけ、その充実を図っている。

さらに区は、急速に進む情報化社会の中で、図書館が求められる多様なニーズや直面する課題を検討し、「練馬区立図書館ビジョン ～これからの図書館サービスのあり方～」を平成25年6月に策定した。これにより、図書館運営の基本理念を「情報拠点として 区民に役立ち頼りにされ 愛される図書館」とし、情報発信拠点機能の充実、学校および子育て家庭などへの支援、図書館の資料や人材の活用、区民や地域との協働を、これからの図書館サービスの方向性として定め、サービスの充実を図っていく。

1 施設の充実

図書館利用者の利便性の向上を図るため、図書館資料受取窓口（高野台・豊玉・石神井公園駅）の4か所目として、大泉学園駅受取窓口（東大泉1-28-1リズム大泉学園4階）を27年5月に開設した。

受取窓口では、予約した練馬区立図書館資料の受取と返却および利用登録ができる。

また、豊玉・石神井公園駅・大泉学園駅受取窓口では、資料検索機で所蔵資料の検索・予約ができる。

そのほか、区立小学校の開放図書館5校に区立図書館の資料を検索できるパソコンを設置している。

2 利用の促進

東京都公立図書館調査（25年度実績）によれば、個人貸出点数および予約点数は、ともに23区中第1位となっている。とりわけ図書館ホームページによる予約サービスを利用した予約が増加している。

図書館では、大人向けの朗読会や福祉施設への出張おはなし会、外部講師を招いての生活や趣味の講座・講演会、地域に関連した事業や区民参加型のイベントなど、区民の生活に密着した魅力ある事業を全館で実施し、区民の読書活動に繋げている。また、映画を通して社会問題を考える場を提供する映画会や、図書館により親しみを感じてもらえるよう、普段は入れない書庫などを実際に見てもらおう図書館ツアーや見学会も行い、図書館への理解を深めてもらえるよう努めている。

そのほか、幅広い資料の収集を積極的に行い、季節の話題や時事問題など、新鮮なテーマの資料を展示し、新しい興味の発見ができる場を提供している。

3 子供の読書活動の推進

図書館では、26年3月に「練馬区子ども読書活動推進計画（第二次）（改訂版）」を策定し、区の子供たちが読書の楽しさや素晴らしさを知り、たくさん本と出会える

ように、区を挙げて様々な取組を進めている。

こうした取組を通して、読書意欲を喚起し、読書環境を整備することで、子供の読書活動が充実するように支援を行っている。

図書館では、絵本や紙芝居、図鑑や読み物などを豊富に所蔵した児童コーナーを設置しており、児童向けのおはなし会、おたのしみ会などの多彩な催しを行っている。中高生向けとしては、青少年コーナーを全館に設置し、読書活動の推進と居場所の提供に取り組んでいる。

また、親子のふれあいと、本への親しみを深める活動として、（保健相談所で行う4か月児健診時に案内し）図書館で保護者に絵本等を手渡すブックスタート事業への取組（26年度4,874セットを配布）や、児童に無償で図書の貸出し等を行っている地域文庫等への本の助成（16団体805冊）、会場に用意した様々な本の中からクイズの答えを見つけ出す参加型イベント「本の探検ラリー」事業を実施している。

子供たちの読書活動を推進していくため、学校への団体貸出しや調べ学習用資料の貸出し、ブックトーク、学校等の教職員を対象とした読書活動の講習会などの支援を実施している。大泉図書館、貫井図書館、稲荷山図書館、小竹図書館、南大泉図書館、春日町図書館および南田中図書館では、学校支援モデル事業を実施している。この事業では、60校の学校図書館に学校図書館支援員を配置し、各校の学校図書館運営計画に基づき、調べ学習の支援や学校図書館資料の選定に対する助言・整理の一層の充実などを行っている。また、ブックスタート事業や本の探検ラリーでのボランティア団体との協働や、おはなし会等の事業に参加するボランティアへの講習会を実施し、活動の担い手を育成している。

4 障害のある方へのサービス

図書館は、誰もが利用できる施設として、身体に障害のある方や病気等で外出が困難な方へのサービスの向上や施設の整備を進めている。図書館では、ボランティアの協力を得て墨字図書（文字で書かれた本）を点訳・音訳して点字資料や録音資料を製作（26年度81点）するとともに、音訳ボランティアの養成講習会等も開催している。

また乳幼児や障害児向けに布の絵本を製作し（26年度50点、所蔵数1,124点）、それらの製作の講習会も開催している。視覚障害者に対しては、ボランティアが本や雑誌などを音読する対面朗読サービスを行い、延べ1,977時間が利用されている。

点字資料・録音資料は、全国の図書館などと連携して相互貸借を行い利用者に郵送貸出しサービスを行っている。18年1月からは、外出が困難な障害者等（区民）に図書館資料の郵送サービスを行っている。

5 情報化への対応

現在、図書館は、全12館および受取窓口等をネットワークで結び、資料の提供を行っている。

情報機器を使用したサービスとして、①図書館ホームページおよび館内に設置した資料検索機による資料の検索・予約や貸出し・予約情報の確認サービス、②図書館情報ボックス（電話による自動音声システム）による貸出し・予約情報の確認サービス、③Eメール・図書館情報ボックスによる予約資料確保・延滞資料の連絡、④イ

ンターネット閲覧用パソコンの全館への設置、を実施している。

図書館ホームページには、子供の読書活動推進の一環として、子供向け・青少年向け・区立小中学校学習支援のページを開設している。なお、25年1月に図書館システムの更新を行い、資料予約機能等の改善を図った。

また、貸出手続の待ち時間短縮を図るための自動貸出機と、資料の紛失を防止し資料の適正な管理を図るための貸出手続確認装置を全館に設置している。

図書館の所蔵資料

平成27年3月31日現在

種別	館名	光が丘	練馬	石神井	平和台	大泉	関町	貫井	稲荷山	小竹	南大泉	南大泉分室	春日町	南田中	合計	
図書資料	一般書(冊)	206,094	104,072	155,790	79,714	149,330	74,822	86,955	56,442	53,563	45,974	1,904	75,614	61,482	1,151,756	
	青少年向け(冊)	15,488	2,278	6,310	3,062	9,071	3,403	5,047	3,529	3,570	8,308	0	10,654	6,067	76,787	
	児童書(冊)	88,295	38,126	43,257	34,177	59,731	36,300	41,869	23,799	25,443	16,281	20,378	25,220	34,893	487,769	
	その他図書(冊)	1,299	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,299	
	合計(冊)	311,176	144,476	205,357	116,953	218,132	114,525	133,871	83,770	82,576	70,563	22,282	111,488	102,442	1,717,611	
雑	誌(冊)	16,049	4,913	3,963	3,984	3,712	3,727	4,208	3,228	2,672	2,044	234	2,952	2,462	54,148	
	視聴覚資料	C D(組)	18,359	10,479	7,168	6,662	7,801	5,905	8,114	4,626	7,318	4,936	-	9,365	5,360	96,093
		カセットテープ(組)	169	209	196	451	238	64	467	114	110	-	-	72	-	2,090
		レコード(組)	370	21	1	768	47	237	8	-	-	-	-	-	-	1,452
		公共ビデオ(組)	173	102	102	45	95	107	154	98	117	-	-	-	94	1,148
		一般ビデオ(組)	668	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	668
		その他視聴覚資料(組)	129	38	41	39	38	39	38	39	39	38	0	37	35	550
合計(組)	19,868	10,849	7,508	7,965	8,219	6,352	8,781	4,877	7,584	4,974	0	9,568	5,456	102,001		
視覚障害者用資料	点字図書(冊)	1,034	1,172	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,206	
	視覚障害者用録音図書(組)	3,705	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,705	
	点字雑誌(組)	491	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	491	
	視覚障害者用録音雑誌(組)	947	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	947	
	視覚障害者用CD(組)	200	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	200	
昆虫標本(点)	-	-	-	-	-	-	-	-	3,261	-	-	-	-	-	3,261	
	マイクロフィルム(点)	1,772	-	-	1,368	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,140	

図書館の利用状況等

平成26年度

種別	館名	光が丘	練馬	石神井	平和台	大泉	関町	貫井	稲荷山	小竹	南大泉	南大泉分室	春日町	南田中	全館合計	高野台窓口	豊玉窓口	石神井公園別館受取窓口	合計
個人利用登録者数(人)	個人利用登録者数(人)	41,754	29,325	25,939	16,375	21,203	14,525	22,056	6,932	12,274	11,623	1,579	12,781	6,362	222,728	-	-	-	222,728
	団体利用登録数(団体)	244	122	103	173	131	155	71	86	74	84	12	88	104	1,447	-	-	-	1,447
	来館者数(人)	824,135	562,872	372,910	301,537	356,501	249,358	726,485	126,249	259,782	262,308	59,903	400,594	254,620	4,757,254	-	-	-	4,757,254
貸出数	個人貸出者数(人)	394,316	219,993	197,086	151,153	195,537	149,464	218,282	63,822	127,486	147,093	26,703	177,883	119,707	2,188,525	13,120	14,268	46,537	2,262,450
	個人貸出点数(点)	1,147,569	623,313	578,361	463,603	593,112	450,611	578,568	201,462	371,892	448,239	103,215	481,932	350,137	6,392,014	28,131	29,306	94,320	6,543,771
	一般図書(冊)	981,046	536,782	511,987	400,335	520,259	382,009	496,061	171,890	306,414	390,037	100,314	412,642	299,895	5,509,671	23,342	24,403	81,441	5,638,857
	点字図書・録音図書(組)	1,946	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,946	-	-	-	1,946
	雑誌(冊)	53,498	23,426	17,248	22,440	22,422	20,695	24,486	13,972	15,290	21,024	2,233	19,438	15,418	271,590	1,508	1,262	4,390	278,750
	点字雑誌・録音雑誌(組)	3,663	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3,663	-	-	-	3,663
	C D, カセットテープ, レコード(組)	106,220	63,074	49,065	40,789	50,335	47,881	57,988	15,555	50,167	37,143	668	49,818	34,717	603,420	3,279	3,611	8,464	618,774
	公共・一般ビデオ, その他(組)	1,141	31	61	39	96	26	33	45	21	35	0	34	107	1,669	2	30	25	1,726
	視覚障害者CD, カセットテープ(組)	54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54	-	-	-	54
	団体貸出点数(点)	13,832	7,546	13,203	11,085	18,315	8,146	7,693	9,922	8,925	7,255	1,357	7,835	11,656	126,770	-	-	-	126,770
協力貸出点数(点)	5,482	601	877	517	675	352	644	400	307	222	5	392	279	10,753	-	-	-	10,753	
貸出予約数	個人貸出予約数(点)	299,273	212,562	150,290	147,293	167,131	156,436	202,798	50,506	137,445	137,252	15,569	142,328	82,378	1,901,261	28,814	29,015	97,179	2,056,269
	図書等(冊)	245,805	169,380	121,032	119,016	132,722	119,453	161,952	39,573	102,126	107,106	13,770	115,907	66,853	1,514,695	23,643	23,781	83,399	1,645,518
	雑誌等(冊)	15,227	9,960	6,685	7,534	8,839	7,307	10,319	3,211	6,425	7,850	907	8,079	4,159	96,502	1,485	1,301	4,497	103,785
	C D, ビデオ等(点)	38,241	33,222	22,573	20,743	25,570	29,676	30,527	7,722	28,894	22,296	892	18,342	11,366	290,064	3,686	3,933	9,283	306,966
団体貸出予約数(点)	1,559	2,933	4,564	3,768	12,280	4,617	2,758	1,862	2,826	4,622	80	3,171	2,365	47,405	-	-	-	47,405	
協力貸出予約数(点)	3,250	832	965	598	814	382	737	367	376	253	11	493	317	9,395	-	-	-	9,395	
対面朗読数(時間)	対面朗読数(時間)	45	22	32	0	525	25	730	-	-	-	-	598	-	1,977	-	-	-	1,977
	会議室利用数(件)	205	189	1	7	113	-	-	9	3	-	-	302	57	886	-	-	-	886
	視聴覚室利用数(件)	122	-	-	91	60	125	152	-	-	-	-	-	-	550	-	-	-	550
	ギャラリー利用数(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	40	-	40	-	-	-	40
図書館開館日数(日)	313	315	315	315	315	315	315	315	315	315	315	315	315	317	4,095	-	-	-	4,095

※光が丘には外出困難障害者郵送サービス分を含む。

催し物

平成26年度

催し物名	実施回数等	参加者数
よみきかせ・おはなし会	957回	18,867人
おたのしみ会	40回	1,945人
こうさく会	36回	1,194人
児童映画会	29回	1,623人
人形劇	8回	849人
昆虫教室	2回	67人
子ども読書の日・こども読書週間記念行事	20回	993人
図書館ボランティアフォロー講習会	1回	31人
手づくり講習会	1回	11人
よみきかせ講習会	1回	24人
学校、施設教職員講習会	2回	42人
本の探検ラリー(図書館開催)	2館	338人
本の探検ラリー(小中学校開催)	48校	6,523人
その他児童向け事業	73回	1,897人
布の絵本製作講習会	4回	60人
音訳者等養成講習会	7回	132人

スポーツ事業

平成26年度

区 分	内容および参加人数		
各 種 大 会	区民体育大会	36種目 総合開会式	21,654人 540人
	都民体育大会	32種目	564人
	都民生涯スポーツ大会	17種目	192人
	城北地区競技会	6種目	295人
	少年野球大会	61チーム	916人
	女性スポーツ大会	3種目	1,250人
	都民スポレクふれあい大会	3種目	73人
	城西ブロックスポーツ交流大会	5種目	276人
野 外 活 動	区民歩行会	5月25日実施 箱根	86人
		11月15・16日実施 塩沢湖	128人
	わんぱくキャンプ	7月25～27日実施 武石栗栗キャンプ場	68人
ス ポ ー ツ 教 室	30種目 73教室	3,617人	
夏 休 み 水 泳 教 室	3校	203人	
少年少女スポーツふれあいひろば	2月21日実施	220人	
体育の日記念行事	10月13日実施 7会場	総合体育館ほか 21,767人	
ねりま光が丘ロードレース	11月9日実施	2,528人	

(3) スポーツ活動を支援する

●スポーツの機会の充実

区は、区民の誰もが、身近な地域で「いつでも どこでも いつまでも」スポーツに親しむことができる環境を充実させるとともに、スポーツの推進を通じて人や地域のつながりを醸成することにより、活気あふれるまち“ねりま”を目指すことを、基本理念とし、平成26年3月に第2期計画として「練馬区スポーツ推進ビジョン」を策定した。

また、本ビジョンの基本理念を実現するための具体的な取組としては、前計画の考え方を引き継ぐとともに、新たに「スポーツが持つ力の地域への活用」を設定し、地域を活性化させるイベントの実施とスポーツを通じた地域コミュニティを活性化させる取組を進めることを加えた。

今後も、より身近な地域で、多くの区民がスポーツに親しむ機会を、充実していく必要がある。

●地域スポーツ指導者の育成

区には、平成27年3月31日現在1,146の生涯学習スポーツ団体が届出をして活動している。一方では、スポーツをやりたいくてもその方法が分からない区民も数多くいる。

区では、区民の多様なスポーツへの要望に応じられるよう、また、生涯スポーツの日常化を目指すスポーツクラブの育成のために、資質の高い指導者の育成と確保に努めている。

1 スポーツ推進委員

区民の要望に応じて、地域スポーツの振興を図るため、スポーツに関する指導、助言を行うことを主目的に、37人(27年4月1日現在)のスポーツ推進委員を委嘱している。

主な日常活動として、地域に向けて、様々なスポーツイベントを企画・実施し、スポーツ振興を図っている。さらに、区民に開放している小・中学校体育館の管理運営やスポーツサークル等の育成・指導等も行っている。このほか区民歩行会、わんぱくキャンプ、夏休み水泳教室等の指導員としても活躍している。また、近年では、学校応援団ひろば事業へニュースポーツを中心としたスポーツの出前を行う「スポすい・ひろば事業」の取組を積極的に行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツ指導者は、専門知識や経験に基づく高い指導

能力が求められる。

区民の様々な要望に応えられる指導者の育成・確保を図るため、区では、スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。

種目別生涯学習スポーツ団体届出数 平成27年3月31日現在

	種目	団体数
球技	バレーボール	146
	バドミントン	93
	卓球	87
	バスケットボール	75
	キャッチバレーボール	45
	野球	59
	ソフトボール	40
	サッカー	109
	テニス	37
	その他	9
水泳	水泳	84
	その他	6
体操	体操	61
	エアロビクス	20
	その他	47
武道	剣道	41
	空手	17
	合気道	16
	その他	20
ダンス	社交ダンス	27
	フォークダンス	13
	その他	42
その他	野外活動	22
	ニュースポーツ	20
	その他	10
合計		1,146

種目別スポーツリーダー数

平成27年3月31日現在

種目	計
バレーボール	17
バドミントン	45
卓球	80
水泳	118
陸上	2
サッカー	2
テニス	1
ソフトボール	6
野外活動	1
ダンス	6
軽スポーツ	5
バウンドテニス	2
体操	58
健康トレーニング	2
クラブコーディネーター	73
ペタントンク	14
ソフトバレーボール	22
グラウンド・ゴルフ	15
インディアカ	22
ラケットテニス	8
ターゲットバードゴルフ	7
カヌー	2
スポーツチャンバラ	4
ウオーキング	45
ユニバーサルホッケー	4
フットサル	20
テニス	5
チュックボール	6
水中運動	39
エコロジースポーツ	1
ビーチボールバレー	30
ヘルシーダンス	18
ウォーミングアップとクールダウン	15
ニュースポーツ	14
合計	709

注：複数種目登録者を含む。

●総合型地域スポーツクラブの育成

国の「スポーツ基本計画」（平成24年3月告示）では、スポーツを通じてすべての人々が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するための取組の一つとして「総合型地域スポーツクラブ（区の略称SSC）」の育成を重点施策としている。

総合型地域スポーツクラブ（SSC）は、

- ・地域の人々が自主的に会費で運営する。
 - ・クラブの活動拠点となる施設を持っている。
 - ・複数種目の活動が楽しめる。
 - ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できる。
 - ・クラブが主催するスポーツ事業が地域に提供される。
- などを特徴とした、今までになかった欧州型の地域ス

ポーツクラブづくりを目指している。

区では、12年度から3か年にわたり、文部科学省のモデル市町村の指定を受け、総合型地域スポーツクラブを立ち上げ、積極的に育成・支援を行っている。

現在、7か所の区立体育館を活動拠点とし、会員制による自立的な運営を行っている。

総合型地域スポーツクラブ (SSC) 平成27年3月31日現在

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数	人
NPO法人 SSC谷原アルファ (SSC谷原)	平成14年 8月24日	21,260	
NPO法人 スポーツコミュニティ桜 (SSC桜台)	平成14年 9月 5日	9,274	
NPO法人 スポーツクラブホワイエ 上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	16,264	
NPO法人 総合型地域スポーツ クラブ平和台 (SSC平和台)	平成14年10月 4日	25,196	
NPO法人 光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年 9月10日	11,433	
NPO法人 コミュニティネットSSC 大泉 (SSC大泉)	平成14年 8月13日	55,266	
NPO法人 豊玉・中村地域スポーツクラブ クラブ プラッツ (SSC豊玉・中村)	平成21年 2月21日	24,380	

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するためには、まずスポーツ施設の整備を図り、活動の場を確保することが必要である。

平成27年3月31日現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場6面、少年野球場6面、庭球場30面、多目的運動場3面、陸上競技場1面、ゲートボール場2面、多目的広場3か所、スポーツ広場1か所である。

しかし、施設は区の人口に比較し十分とはいえない状況であり、今後もスポーツ施設の整備・充実を図る必要がある。

屋外施設種目別利用状況

平成26年度

区分	施設名	件数
成人 野球	学 田 公 園 面	1 620
	高 野 台	1 373
	北 大 泉	2 763
	東 台	2 893
少年 野球	練 馬 総 合 運 動 場	2 1,573
	大 泉 学 園 少 年 野 球 場	1 -
	荒 川 河 川 敷 野 球 場 (硬式少年野球)	3 347
	大 泉 学 園 町 希 望 が 丘 公 園 運 動 場	1 13
	石 神 井 松 の 風 文 化 公 園	1 94
庭 球	豊 玉 中 公 園	3 1,503
	高 野 台	4 2,770
	び く に 公 園	2 1,030
	土 支 田	7 7,412
陸上 競技等	夏 の 雲 公 園	4 6,212
	大 泉 学 園 町 希 望 が 丘 公 園 運 動 場	3 3,068
	石 神 井 松 の 風 文 化 公 園	7 7,723
	練 馬 総 合 運 動 場	1 820
ゲート ボール	練 馬 総 合 運 動 場	2 812
	石 神 井 松 の 風 文 化 公 園	1 56
個人 利用	大 泉 さ く ら 運 動 公 園 多 目 的 運 動 場	103
	練 馬 総 合 運 動 場	5,971
	石 神 井 松 の 風 文 化 公 園	12,988
サッ カ ー	大 泉 さ く ら 運 動 公 園 多 目 的 運 動 場	850
	石 神 井 松 の 風 文 化 公 園	209
サッ カ ー	大 泉 学 園 町 希 望 が 丘 公 園 運 動 場	197
ニ ュ ー ス ポ ー ツ	大 泉 さ く ら 運 動 公 園 多 目 的 運 動 場	105
	大 泉 学 園 町 希 望 が 丘 公 園 運 動 場	-
	石 神 井 松 の 風 文 化 公 園	76
	び く に 公 園 多 目 的 広 場	212
	夏 の 雲 公 園 多 目 的 広 場	-
	総 合 体 育 館 東 側 多 目 的 広 場	51
	や ま な み 公 園 多 目 的 運 動 広 場	-

注：①件数について、練馬総合運動場は時間で集計している。

②豊玉中公園庭球場は人工芝化工事のため平成26年11月1日から平成27年3月31日まで休場

③びくに公園庭球場は工事のため平成26年8月1日から10月31日まで休場

④びくに公園多目的広場は工事のため平成26年8月1日から9月30日まで休場

体育館の利用状況

平成26年度

区分	施設名	総合体育館	桜台体育館	平和台体育館	光が丘体育館	上石神井体育館	大泉学園町体育館	中村南スポーツ交流センター
個人利用		42,094	8,226	44,157	37,217	50,838	49,140	37,986
団体利用		48,216	25,936	22,608	22,324	28,004	19,355	16,149
トレーニング		19,070	—	25,483	68,481	34,889	34,752	60,085
連盟主催大会等		35,288	1,912	16,450	22,786	4,968	16,180	26,750
教室・大会等		18,562	4,555	2,665	21,737	3,159	4,559	1,260
健康体力相談		—	—	—	271	—	—	—
自主事業		—	408	2,516	178	133	1,362	17,775
合計		163,230	41,037	113,879	172,994	121,991	125,348	160,005

※トレーニング室には説明会参加者を含む。なお、光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

プールの利用状況

平成26年度

区分	施設名	石神井プール	三原台温水プール	平和台体育館温水プール	光が丘体育館温水プール	上石神井体育館温水プール	大泉学園町体育館温水プール	中村南スポーツ交流センター温水プール
個人利用	幼児	6,023	3,678	3,644	5,605	2,509	2,429	8,031
	小学生	13,632	12,315	10,857	21,009	8,435	13,100	20,071
	大人	17,403	24,929	38,215	54,936	36,209	31,382	62,114
	高齢者	2,771	26,383	22,886	37,872	28,440	22,515	37,188
	心身障害者	539	2,166	1,430	3,380	2,138	3,384	3,883
	小計	40,368	69,471	77,032	122,802	77,731	72,810	131,287
団体利用		—	24,150	9,875	15,528	13,177	25,371	14,743
教室・大会等		—	1,358	622	5,334	2,673	1,149	3,247
障害者専用コース		—	739	620	1,221	833	1,203	1,172
自主事業		—	1,970	2,996	811	1,584	—	8,190
合計		40,368	97,688	91,145	145,696	95,998	100,533	158,639

●練馬こぼしハーフマラソンの開催

スポーツイベントへの区民の参加を通じて、地域のつながりを深めるとともに、全国から多くのランナーを迎え区の魅力を広く発信することを目的に、関係機関、地域団体、区などによる実行委員会を組織して、練馬こぼしハーフマラソンを開催した。

エントリー数 5,248人

当日出走者数 4,674人

完走者数 4,464人

完走率 95.5%

※オープン参加含む

(4) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の多くの文化財がある。文化財は、先人の歴史・文化等の貴重な遺産であり、当時の人々の生活を理解するために欠かすことができない。また、歴史・文化の正しい理解は、将来の文化の向上、発展の基礎となるものである。しかし、都市開発の影響を受け、貴重な自然や文化財が消滅しつつある。

これらの文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区では、かけがえのない文化遺産を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

練馬区文化財保護条例が昭和61年3月に制定された。条例に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、保存・活用を図るために、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。平成26年度は新規の指定文化財は1件、登録文化財は1件であった。

※ 区内の指定・登録文化財については、224～225ページ参照。

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

埋蔵文化財（遺跡等）は、開発行為による破壊の危険にさらされており、区では遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。集合住宅建設などにより遺跡消滅のおそれがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。平成26年度は、遺跡地で工事を行う届出が99件、通知が7件あり、遺跡の有無を確認するための試掘等が89件、発掘調査が3件あった。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間であり、26年度は、10月25日～11月3日までの10日間、区内8件の文化財（小野蘭山墓及び墓誌、尾崎遺跡、練馬白山神社の大ケヤキ、三宝寺池沼沢植物群落、石神井城跡、丸山東遺跡方形周溝

墓出土品、牧野記念庭園、池永道雲墓）を公開し、伝統文化係でつぎの企画事業を行った。

- ・ねりまの遺跡を学び土器に触れてみよう
10月2日 18人参加
- ・尾崎遺跡出土品解説会 10月26日 20人参加
また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。
- ・「石神井城跡発掘パネル展」 10月25日～11月5日
- ・東京9区合同開催行事「来て・見て・発見！はじめよう古民家めぐり」 10月3日～30日
- ・古民家説明会
10月11日（世田谷区との合同）11人参加
10月26日 26人参加

3 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演会を開催し、祭囃子連が4団体出演した（第15回）。

会場：生涯学習センター 400人参加

4 刊行物の発行

26年度は、つぎの刊行物を発行した。

- ・ねりまの文化財（年3回）
- ・埋蔵文化財調査報告29

5 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。26年度は、新規2件、修繕1件を実施し、総数175件となっている。また、道標は29か所設置している。

6 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努め、平成26年度は、教学院、としまえんの2か所で、一斉放水等の訓練を行い、244人の参加があった。

●文化財保護推進員

区内の文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

区では、文化財の所有者を始め多くの区民の協力の下に、文化財の保護・保存を行っている。

●尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約500点を展示している。平成26年度は延べ73人が来室した。

(5) 多様な文化・社会への理解を進める

●多文化共生と国際理解

区は交流会や各種講座を積極的に開催し、区民の国際理解を深めている。また、外国籍区民等への支援を充実させるなどして、外国籍区民が地域において快適に生活し、他の区民と交流できるための整備に努めている。平成26年度

の事業内容はつぎのとおりである。

1 国際理解を深めるために

- ① 在住外国人との交流
在住外国人と区民との交流の場として、国際交流のつどい（11月）、国際交流サロン（原則第4土曜日、9回）をそれぞれ開催した。
- ② 外国語講座
簡単な意思疎通がはかれるように、中国語の初級講座を開催した。
- ③ やさしい日本語研修
分かりやすい日本語によるスムーズな意思疎通を目指したやさしい日本語研修を、区職員と区民を対象として実施した。

2 外国籍区民への支援

- ① 外国語による相談コーナー
毎週月曜日～金曜日の午後、外国語による相談コーナーを設け、区の事業・文化・学習情報の提供や簡単な日常生活上の相談を受けている。（英語・中国語・ハンゲル※ハンゲルは金曜日のみ。）
- ② 文化交流ひろば 情報コーナー
平日10時～13時、土・日・祝13時～16時に、旧光が丘第五小学校に開設した文化交流ひろばに情報コーナーを設け、多言語により各種の生活情報を提供している。（英語：火・木・土、中国語：水・金・日、ハンゲル：月）
- ③ 初級日本語講座
日本語が十分に話せない外国人を対象に、日常会話やひらがなの読み書きを学ぶ講座を2期開催した。
また、日本語を母語としない外国籍の子供等のために初級の日本語指導のほか、学校の勉強の補習も行うことも日本語教室を学校休業期間を除く毎週土曜日に開催した（夏季は8月下旬に6日間実施）。

3 ボランティアの登録

区の窓口で日本語を母語としない外国人への通訳を行う通訳・翻訳ボランティアや、日本語講師のボランティア登録制度があり、登録を随時受け付けている。27年3月31日現在の登録者数は通訳・翻訳ボランティアが403人、日本語講師ボランティアが170人である。

●海外友好都市等との交流

1 北京市海淀区

昭和63年に「都区市町村長訪中団（団長・練馬区長）」が北京市を訪問したことから、海淀区との交流が始まり、平成4年10月13日に、海淀区長を区に招き「友好・協力交流に関する合意書」の調印を行った。

以降、教育・文化・スポーツなどの分野で交流を進めている。立野公園内の桃花源には、海淀区から贈られた碧桃樹が植えられている。

友好交流10周年に当たった14年には海淀区に桜を寄贈し、9月には区役所本庁舎アトリウムで「友好交流10周年記念写真展」を開催した。11月6日には区長が海淀区を訪問し、改めて「友好・協力交流に関する合意書」

の調印を行った。

友好交流15周年を迎えた19年は、7月に区立美術館で「練馬区・北京市海淀区友好文化交流展」を開催し、10月には区役所本庁舎アトリウム、12月には練馬文化センターギャラリーで「友好交流15周年記念写真展」を開催した。11月には区議会代表団が海淀区を訪問し友好を深めた。

20年1月に友好交流15周年と練馬区独立60周年を記念して海淀区から贈られた記念碑を区役所本庁舎正面玄関に設置した。

23年10月には公募区民（13人）による親善訪問団（5年から実施）を海淀区へ派遣した。

24年は友好交流20周年を記念して、8月に練馬文化センターで海淀区少年少女合唱団と練馬児童合唱団による合同演奏会を開催し、9月には区民による練馬区スポーツ交流団（14人）を海淀区へ派遣し交流を深めた。

2 イプスウィッチ市

昭和63年に練馬区国際交流友好都市提携調査団がオーストラリアを訪問したことから、クイーンズランド州イプスウィッチ市との交流が始まり、平成5年から区立中学校の生徒をイプスウィッチ市へ派遣している。

6年10月15日には、イプスウィッチ市長を区に招き、「友好都市提携に関する合意書」の調印を行った。

13年5月には、イプスウィッチ市に友好のシンボルとしてネリマガーデンが開園し、区長、区議会議員が開園式に出席した。

16年10月には区長がイプスウィッチ市を訪問し、「友好都市提携10周年に関する合意書」の調印を行った。

友好交流15周年を迎えた21年は、11月に区長、区議会議員団がネリマガーデンに建設された茶室の完成式典に出席し、今後の交流事業の発展に向けて意見交換を行った。

22年4月には区職員と練馬区手工芸作家連盟がイプスウィッチ市自治体150周年に参加し、現地にて展覧会とワークショップを行った。

23年1月に洪水により甚大な被害を被ったイプスウィッチ市に対して3月に区および区議会から義援金を送った。5月にはイプスウィッチ市の小学生から東日本大震災のお見舞いメッセージ付きのぬり絵が届いた。

24年10月にはイプスウィッチ市長と友好訪問団が区を訪れ、第35回練馬まつりに参加した。

26年10月にはイプスウィッチ市長と友好訪問団が区を訪れた。「友好都市提携20周年に関する合意書」の調印を行い、石神井松の風文化公園で記念植樹を行った。

3 諸外国との交流

9年11月には練馬区独立50周年、フランスにおける日本年などを記念し、フランス・ストラスブール市に桜を寄贈した。10年5月には同市からマロニエの苗木100本が寄贈され、区画街路3号線と中村小学校に植樹するなどの交流歴がある。

21年4月にフランス・アヌシー市とアニメ産業交流協定を締結した。26年は韓国、ミャンマーからの視察団を受け入れた。

4 海外友好都市等紹介事業

(1) 海外友好都市紹介講座

- ① オーストラリアの魅力～自然と文化・観光～（10月）
- ② 中国二大健康法「太極拳と健身気功」の世界（1月）

(2) 海外友好都市紹介パネル展

区と海淀区およびイプスウィッチ市の交流について、パネルや写真等による紹介展示を区役所本庁舎アトリウムで行った。（7月、9月、10月、1月）

(3) 海外友好都市等紹介ケースの常設展示

海外友好都市およびアニメ産業交流を結んでいるフランス・アヌシー市を紹介するため展示ケースを区役所アトリウムに常設している。

(4) ハワリンバヤル（モンゴルの春まつり）出店

26年5月4日・5日光が丘公園で、区の国際交流事業を紹介する展示を行った。

5 ホームステイ・ホームビジット

区では「練馬区国際交流・多文化共生基本方針」に基づき、自治体間の交流のみならず、区民による主体的な国際交流を推進するため、ホームステイ・ホームビジット希望者を受け入れるホストファミリー（ボランティア）を随時募集している。

27年3月31日現在ボランティア登録数は111世帯である。

6 国内都市との交流

(1) 長野県上田市

昭和55年に長野県武石村（現上田市）に区立武石少年自然の家を開設したことから交流が始まり、平成6年11月10日に「友好提携に関する合意書」の調印を行った。その後、18年3月に武石村を含む4市町村が合併し、新たに上田市となったため、区長が上田市を訪問し、8月18日に「友好提携に関する合意書」の調印を行った。

上田市とは、照姫まつりや練馬まつりで物産の展示・販売による交流を行っている。26年10月には、区長が上田市を訪問し上田市長と意見交換を行った。

(2) 福島県塙町

区は塙町と災害時における相互援助に関する協定を締結しており、23年8月に東日本大震災でプールを利用できない塙町の小学生を区に招き、大泉小学校と南町小学校のプールを利用してもらうなどの交流を行った。

区の支援に対して、塙町からヤマツツジの大株が寄贈されることとなり、区からも練馬の鏡（ツツジ）を贈ることとし、24年5月2日風呂山公園100周年記念式典に区長、区議会議員が出席した。

塙町とは、照姫まつりや練馬まつりの他、区立施設のイベントなどで物産の展示・販売による交流を行っている。

26年4月に、石神井松の風文化公園へ塙町、福岡県久留米市、群馬県館林市から各地のツツジの寄贈を受けた。「友好のつつじ」披露式典に3自治体の首長を招き、交流を行った。

(3) 群馬県館林市

区は館林市と災害時における物資等の支援に関する協定を締結している。26年5月には、「つつじまつり交流都市物産展」に出品した。